

令和6年度 群馬支部事業計画及び 支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取 (意見交換)について

戦略的保険者機能の充実・強化に向けた本部・支部の連携強化について

概要

- 保険者機能強化アクションプラン（第5期）において、「（3）組織・運営体制関係」の「④本部機能及び本部支部間の連携の強化」に記載しているとおり、戦略的保険者機能の更なる強化を着実に実施していくためには、本部・支部間の更なる連携強化が重要となる。
- このため、支部ごとの課題を本部・支部で明確に共有し、課題の解決を図るため、これまでの本部・支部間の情報共有のあり方や予算体系等を整理し、令和4年度より本部・支部間の連携強化の方策を実施する。

主な実施事項

- 1. 本部・支部における支部ごとの課題認識の共有に基づく支部事業の実施** …… (1) 医療費・健診情報等の分析に基づく支部ごとの課題の明確化
(2) 本部・支部における支部ごとの課題認識の共有
(3) 支部保険者機能強化予算、パイロット事業及び支部調査研究事業の関係性の整理
- 2. 自治体等との共同分析及びその分析結果を活用した事業化の推進等** …… (1) 共同事業の概要・実施スキーム
(2) 職員の調査分析能力の向上・取組成果の発信のための学会参加への支援
- 3. 保健事業推進に向けた保健師等の役割** …… (1) 保健事業に係る事務処理体制（事務分担等）の検証及び標準モデルの策定
(2) 保健師の育成の充実【保健師キャリア育成課程】
- 4. 広報の強化** …… (1) 広報基本方針・広報計画の策定
(2) 全支部共通の広報資材の作成（パンフレット・リーフレット・動画）

戦略的保険者機能強化に向けた群馬支部の現状

- 1.適用情報・医療費情報
- 2.健診情報
- 3.健康課題と取組

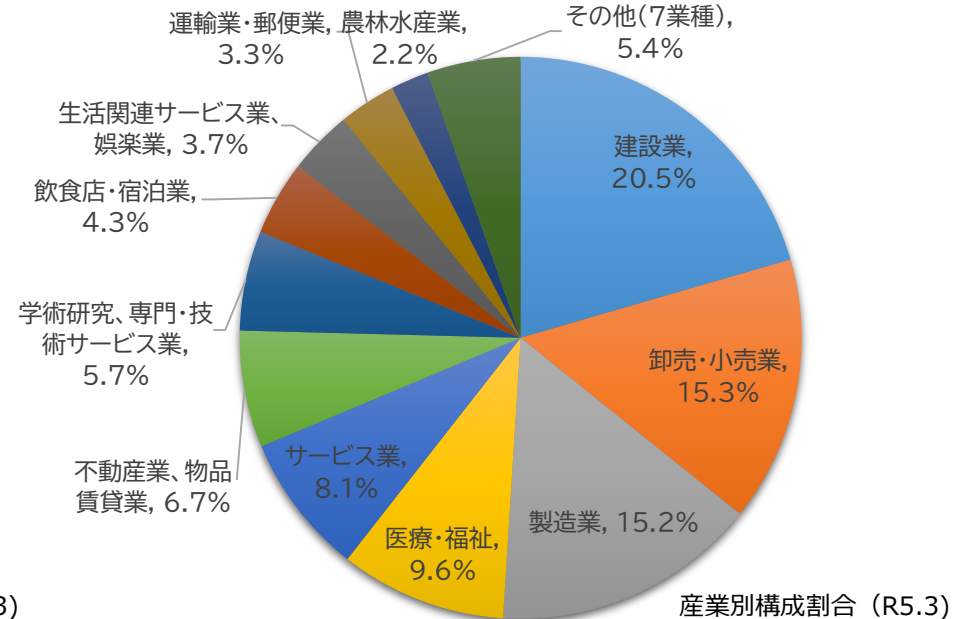
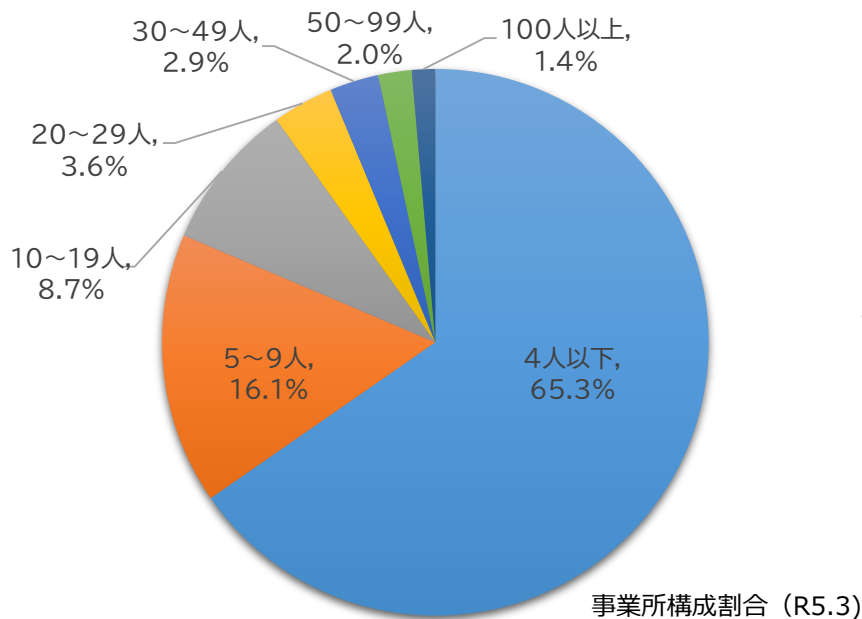
群馬支部の適用情報について

●適用状況

事業所数	37,486事業所
加入者数	618,344人
被保険者数	382,487人（男性：232,672人 女性：149,815人）
被扶養者数	235,857人（男性：84,114人 女性：151,743人）

協会けんぽ月報（総括表）（令和5年3月）

●構成割合



群馬支部の医療費情報について

総計（入院・入院外・歯科）

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費 年齢調整後	受診率	受診率 年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	167,309	166,509	7,422.6	7,404.6	1.55	14,503
2021	181,113	180,285	8,012.8	7,994.4	1.52	14,845
2022	194,076	193,523	8,487.5	8,473.1	1.5	15,275

入院

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費 年齢調整後	受診率	受診率 年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	46,868	46,606	85.33	85.25	9.91	55,396
2021	50,055	49,770	89.72	89.66	9.67	57,720
2022	50,888	50,737	88.97	89.09	9.57	59,754

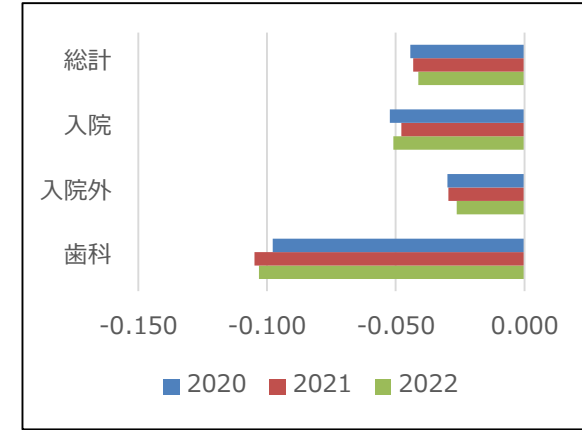
入院外

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費 年齢調整後	受診率	受診率 年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	101,765	101,257	5,747.5	5,732.8	1.39	12,768
2021	111,637	111,137	6,228.9	6,214.3	1.38	13,034
2022	123,142	122,786	6,664.1	6,653.6	1.36	13,539

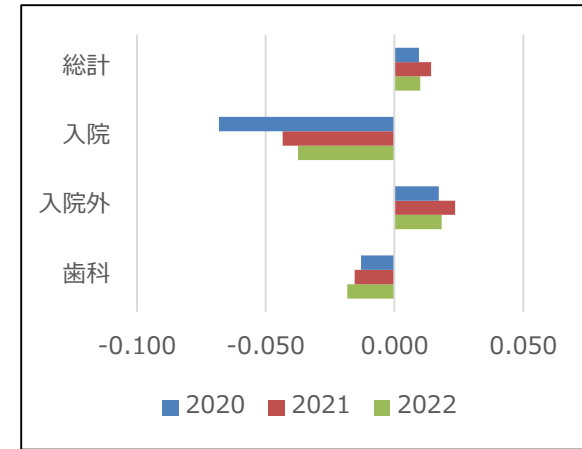
歯科

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費 年齢調整後	受診率	受診率 年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	18,676	18,646	1,589.76	1,586.54	1.71	6,867
2021	19,420	19,378	1,694.16	1,690.46	1.63	7,015
2022	20,046	20,001	1,734.43	1,730.40	1.59	7,267

1人当たり医療費の地域差指数 - 1



受診率の地域差指数 - 1



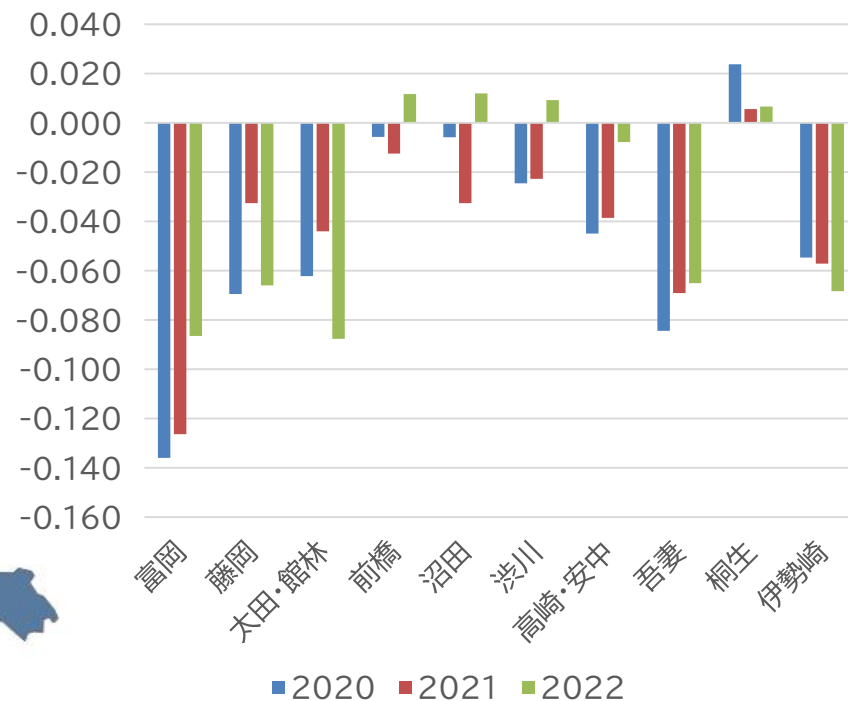
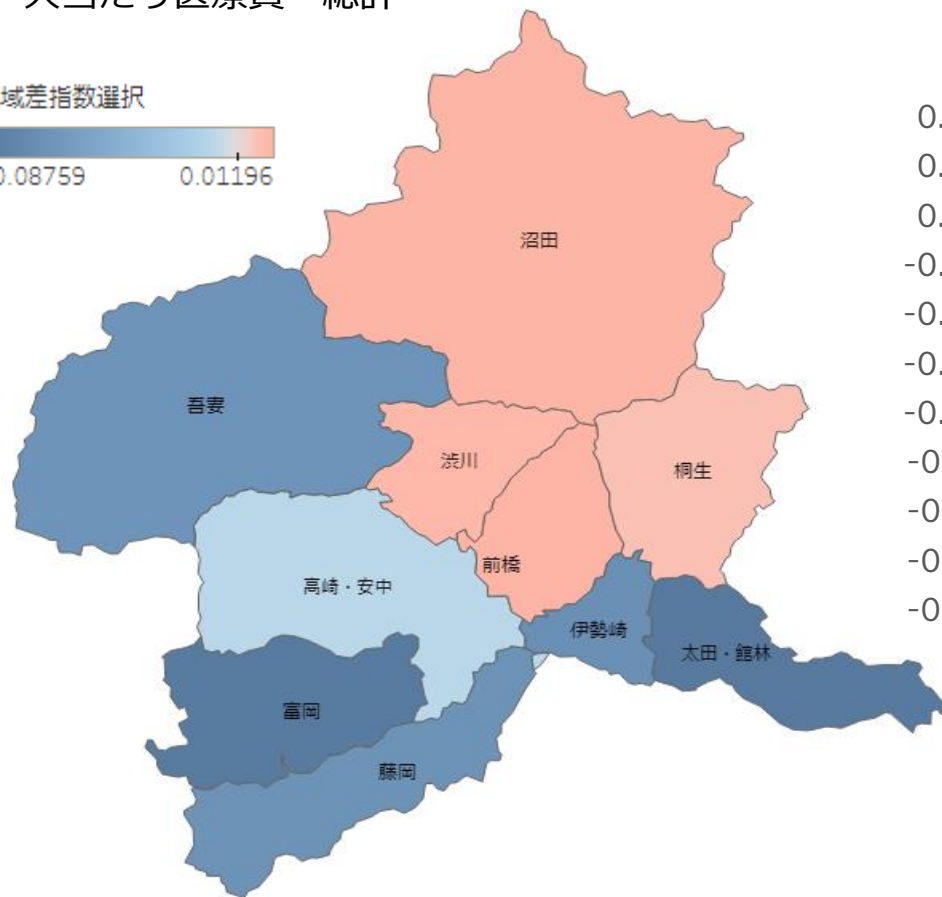
「地域差指数 - 1」とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を0として指数化したものであり、0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示しています。

- ※ 群馬支部加入者のレセプトデータより集計
- ※ 受診率は1000人当たりのレセプト件数
- ※ 単位は、1人当たり医療費（円）、受診率（件）、1件当たり日数（日）、1日当たり医療費（円）
- ※ 調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めている

群馬支部の医療費情報について

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022）
一人当たり医療費 総計

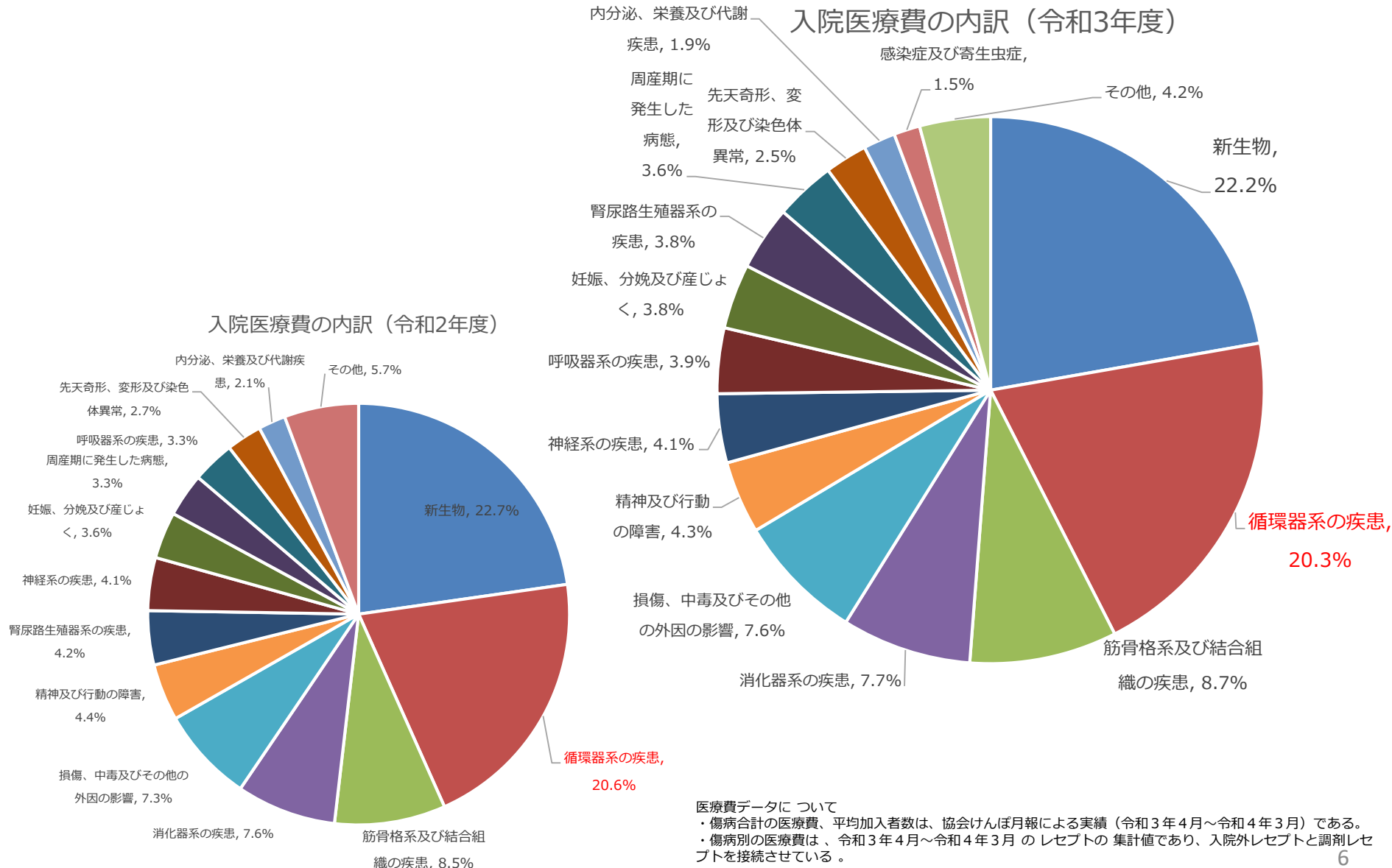
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.136	-0.069	-0.062	-0.006	-0.006	-0.024	-0.045	-0.084	0.024	-0.055
2021	-0.126	-0.033	-0.044	-0.012	-0.033	-0.023	-0.039	-0.069	0.006	-0.057
2022	-0.086	-0.066	-0.088	0.012	0.012	0.009	-0.008	-0.065	0.007	-0.068

群馬支部の医療費情報について

令和3年度群馬支部加入者の入院医療費の疾病毎の内訳では、令和2年度と同様に、「新生物」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」となっている。



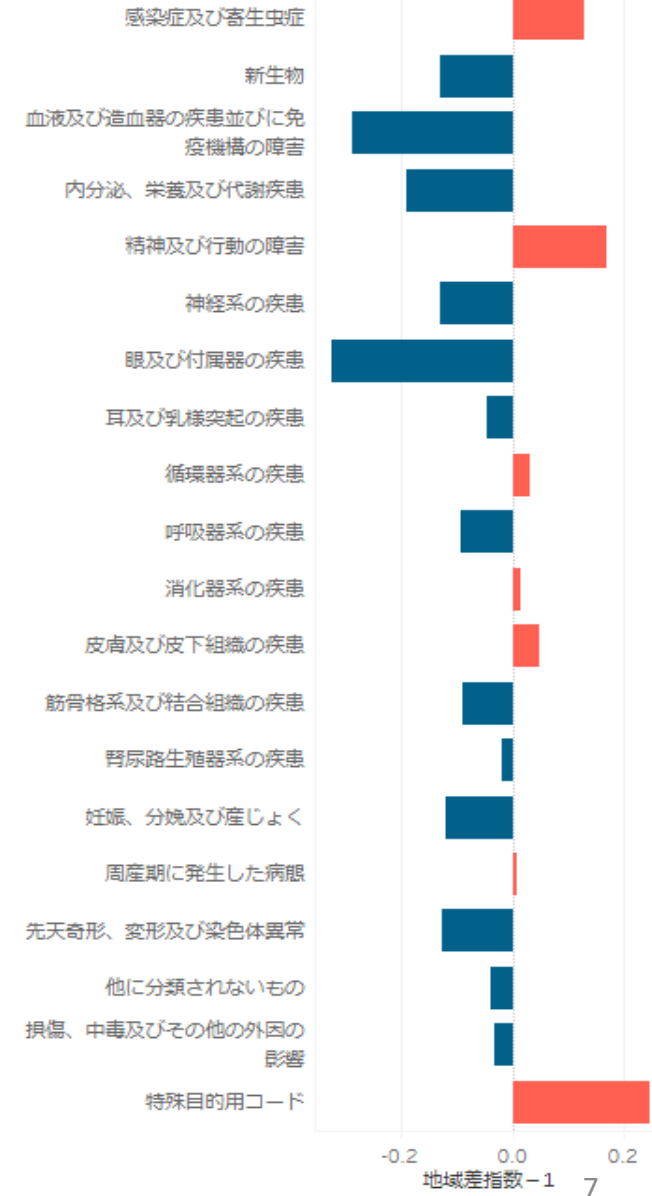
群馬支部の医療費情報について

入院

群馬支部加入者 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数 - 1

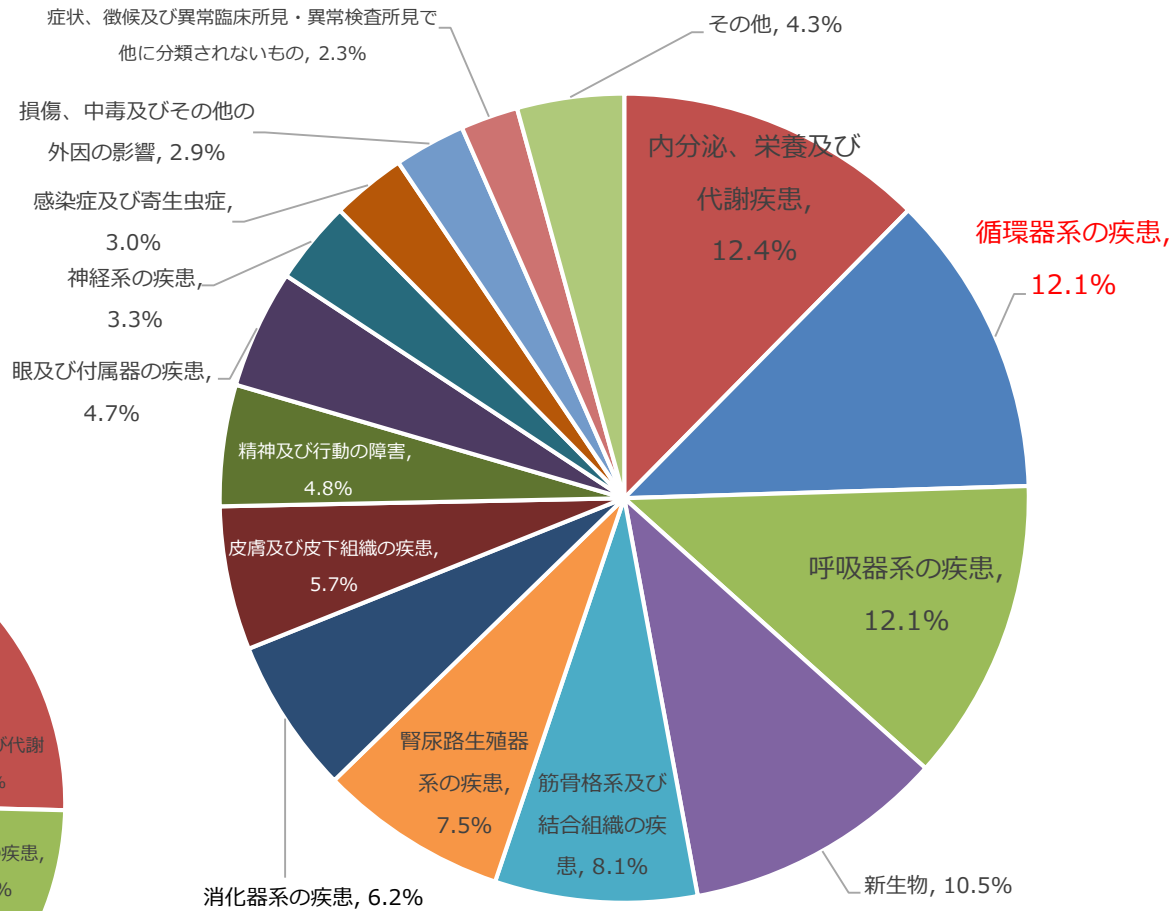
統計年度	感染症及び寄生虫症(院)	新生物	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患
2020	0.069	-0.123	0.234	-0.076	0.093	-0.191	-0.338	-0.037	0.024	-0.098
2021	-0.075	-0.127	0.157	-0.156	0.112	-0.156	-0.327	0.001	0.014	-0.059
2022	0.131	-0.131	-0.288	-0.191	0.168	-0.130	-0.326	-0.045	0.032	-0.092
統計年度	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	妊娠、分娩及び産じょく	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外因の影響	特殊目的用コード
2020	-0.033	-0.225	-0.027	0.027	-0.123	-0.091	0.050	-0.054	-0.062	0.260
2021	-0.010	-0.064	-0.035	-0.037	-0.052	0.041	-0.043	-0.006	-0.005	0.029
2022	0.015	0.050	-0.090	-0.019	-0.121	0.007	-0.125	-0.040	-0.033	0.246



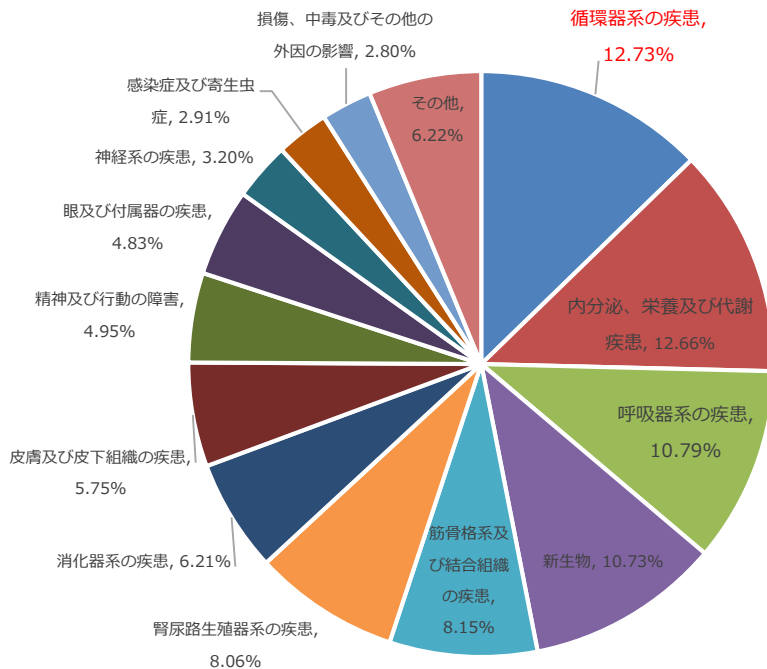
群馬支部の医療費情報について

令和3年度群馬支部加入者の入院外医療費の疾病毎の内訳では、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」となっている。

入院外医療費の内訳（令和3年度）



入院外医療費の内訳（令和2年度）



医療費データについて

- ・ 傷病合計の医療費、平均加入者数は、協会けんぽ月報による実績（令和3年4月～令和4年3月）である。
- ・ 傷病別の医療費は、令和3年4月～令和4年3月のレセプトの集計値であり、入院外レセプトと調剤レセプトを接続させている。

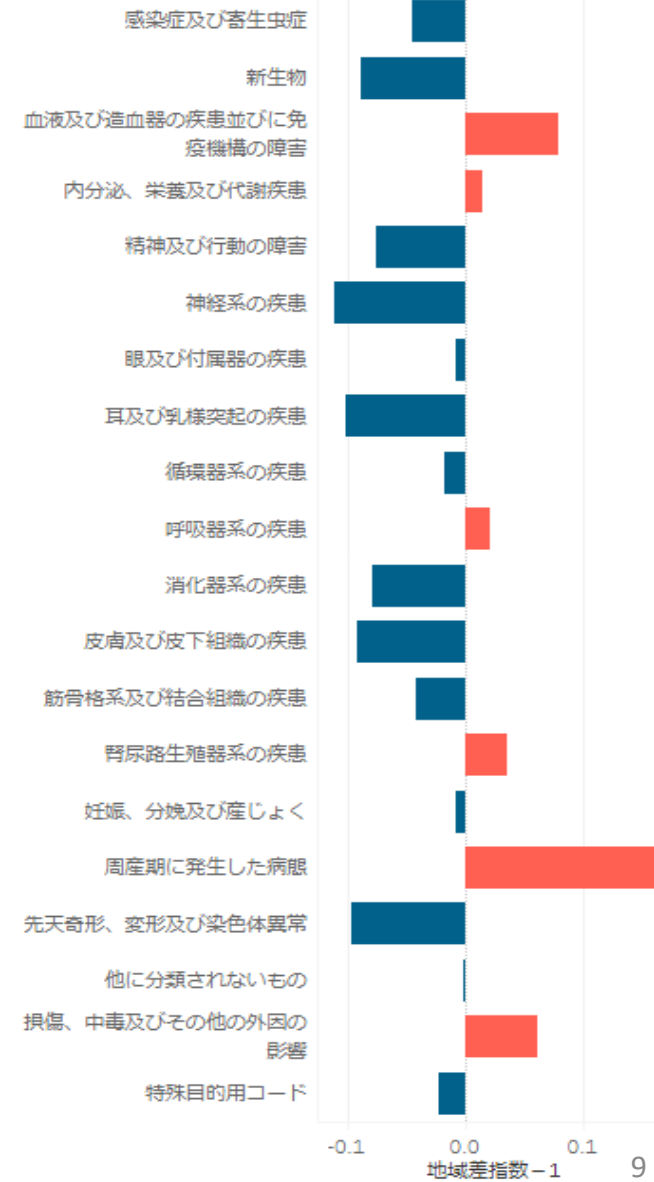
群馬支部の医療費情報について

入院外

群馬支部加入者 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数 - 1

統計年度	感染症及び寄生虫症	新生物	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患
2020	-0.140	-0.066	-0.055	-0.001	-0.074	-0.117	-0.008	-0.109	-0.015	0.035
2021	-0.123	-0.095	-0.019	-0.004	-0.073	-0.119	-0.003	-0.113	-0.028	0.052
2022	-0.045	-0.089	0.079	0.014	-0.076	-0.113	-0.007	-0.102	-0.018	0.022
統計年度	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	妊娠、分娩及び産じょく	周産期に発生した病態	先天奇形、変形及び染色体異常	他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外因の影響	特殊目的用コード
2020	-0.073	-0.120	-0.061	0.079	-0.079	-0.015	-0.090	0.065	0.035	0.341
2021	-0.083	-0.109	-0.053	0.048	-0.010	0.035	-0.037	0.007	0.064	0.195
2022	-0.079	-0.092	-0.043	0.036	-0.007	0.163	-0.097	-0.001	0.062	-0.022



(参考) 疾病分類別 傷病名

疾病分類別	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
傷病名	<ul style="list-style-type: none"> 腸管感染症 結核 主として性的伝播様式をとる感染症 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 ウイルス性肝炎 その他のウイルス性疾患 真菌症 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 その他の感染症及び寄生虫症 	<ul style="list-style-type: none"> 胃の悪性新生物<腫瘍> 結腸の悪性新生物<腫瘍> 直腸の悪性新生物<腫瘍> 肝の悪性新生物<腫瘍> 肺の悪性新生物<腫瘍> 乳房の悪性新生物<腫瘍> 子宮の悪性新生物<腫瘍> 悪性リンパ腫 白血病 その他の悪性新生物<腫瘍> 良性新生物<腫瘍> 	<ul style="list-style-type: none"> 貧血 その他の血液及び造血器の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 甲状腺障害 糖尿病 脂質異常症 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 血管性及び詳細不明の痴呆 精神作用物質使用による精神障害 統合失調症及び妄想性障害 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 神経症性障害、ストレス関連障害 精神遅滞 その他の精神及び行動の障害 	<ul style="list-style-type: none"> パーキンソン病 アルツハイマー病 てんかん 脳性麻痺及び他の麻痺性症候群 自律神経系の障害 その他の神経系の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 結膜炎 白内障 屈折及び調節の障害 その他の眼及び付属器の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 外耳炎 その他の外耳疾患 中耳炎 その他の中耳及び乳様突起の疾患 メニエール病 その他の内耳疾患 その他の耳疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧性疾患 虚血性心疾患 その他の心疾患 くも膜下出血 脳内出血 脳梗塞 脳動脈硬化(症) その他の脳血管疾患 動脈硬化(症) 低血圧(症) その他の循環器系の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 急性鼻咽頭炎[かぜ] 急性咽頭及び扁桃炎 その他の急性上気道感染症 肺炎 急性気管支及び細気管支炎 アレルギー性鼻炎 慢性副鼻腔炎 急性又は慢性と明示されない気管支炎 慢性閉塞性肺疾患 喘息 その他の呼吸器系の疾患

疾病分類別	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
傷病名	<ul style="list-style-type: none"> う蝕 歯肉炎及び歯周疾患 その他の歯及び歯の支持組織の障害 胃及び十二指腸潰瘍 胃及び十二指腸炎 痔核 アルコール性肝疾患 慢性肝炎(アルコール性除く) 肝硬変(アルコール性除く) その他の肝疾患 胆石症及び胆のう炎 膵疾患 その他の消化器系の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚及び皮下組織の感染症 皮膚炎及び湿疹 その他の皮膚及び皮下組織の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 炎症性多発性関節障害 関節症 脊椎障害(脊椎症を含む) 椎間板障害 頸腕症候群 腰痛症及び坐骨神経痛 その他の脊柱障害 肩の傷害 骨の密度及び構造の障害 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 糸球体及び腎尿管間・質性疾患 腎不全 尿路結石症 その他の尿路系の疾患 前立腺肥大(症) その他の男性性器の疾患 月経障害及び閉経周辺期障害 乳房及び他の女性性器の疾患 	<ul style="list-style-type: none"> 流産 妊娠中毒症 単胎自然分娩 その他の妊娠、分娩及び産じょく 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠及び胎児発育に関連する障害 その他の周産期に発生した病態 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓の先天奇形 他の先天奇形、変形及び染色体異常 	<ul style="list-style-type: none"> 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見 	<ul style="list-style-type: none"> 骨折 頭蓋内及び内臓の損傷 熱傷及び腐食 中毒 	<ul style="list-style-type: none"> 重症急性呼吸器症候群[SARS] その他の特殊目的コード

戦略的保険者機能強化に向けた群馬支部の現状

- 1.適用情報・医療費情報
- 2.健診情報
- 3.健康課題と取組

群馬支部の健診情報について

健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2020	55.1%	8.6%	23.5%	10.3%	9.8%	749
2021	58.3%	8.8%	28.0%	12.3%	9.2%	1,184
2022	61.3%	7.7%	28.8%	14.4%	11.1%	1,331

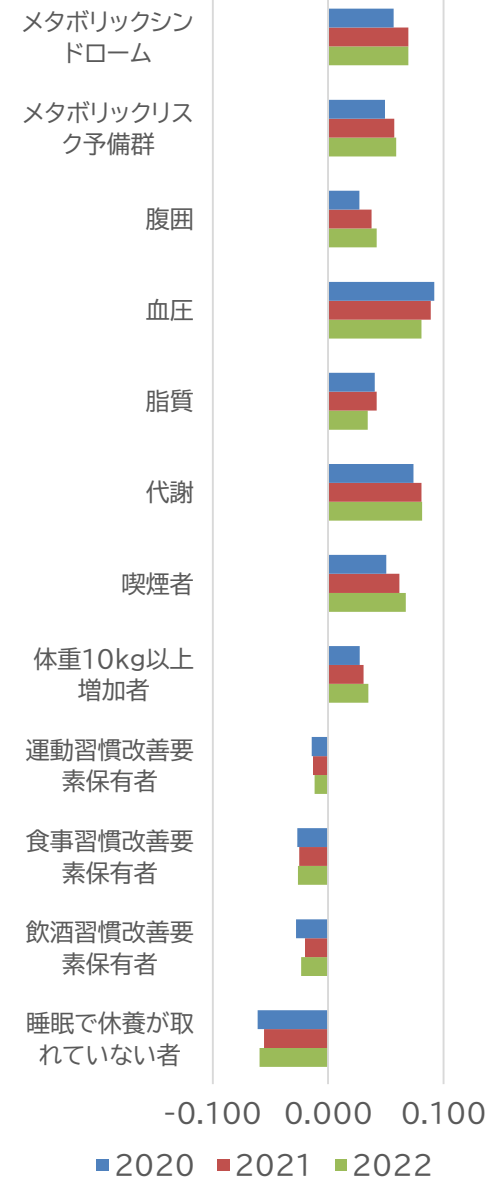
健診結果及び問診結果

年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率		メタボリックリスク予備群の割合		腹囲のリスク保有率		血圧のリスク保有率	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	16.6%	0.057	13.5%	0.049	36.4%	0.027	49.6%	0.092
2021	16.7%	0.070	13.5%	0.057	36.5%	0.038	49.5%	0.089
2022	16.9%	0.069	13.4%	0.059	36.6%	0.042	49.7%	0.081

年度	脂質のリスク保有率		代謝のリスク保有率		喫煙者の割合		体重10kg以上増加者の割合	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	29.9%	0.041	16.6%	0.074	30.1%	0.050	42.1%	0.028
2021	29.7%	0.042	16.7%	0.081	29.6%	0.062	42.3%	0.031
2022	29.7%	0.034	17.0%	0.081	29.7%	0.067	42.5%	0.035

年度	運動習慣改善要素保有者の割合		食事習慣改善要素保有者の割合		飲酒習慣改善要素保有者の割合		睡眠で休養が取れていない者の割合	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	89.0%	-0.014	67.6%	-0.027	28.2%	-0.028	34.0%	-0.061
2021	88.7%	-0.013	67.7%	-0.025	27.7%	-0.020	34.3%	-0.056
2022	88.4%	-0.012	67.7%	-0.026	27.5%	-0.023	35.1%	-0.059

健診結果及び問診結果の地域差指数-1



※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

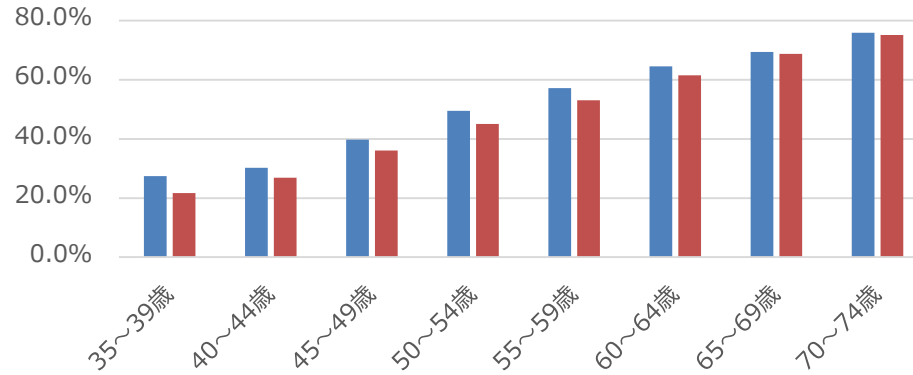
※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

群馬支部の血圧リスク保有割合について

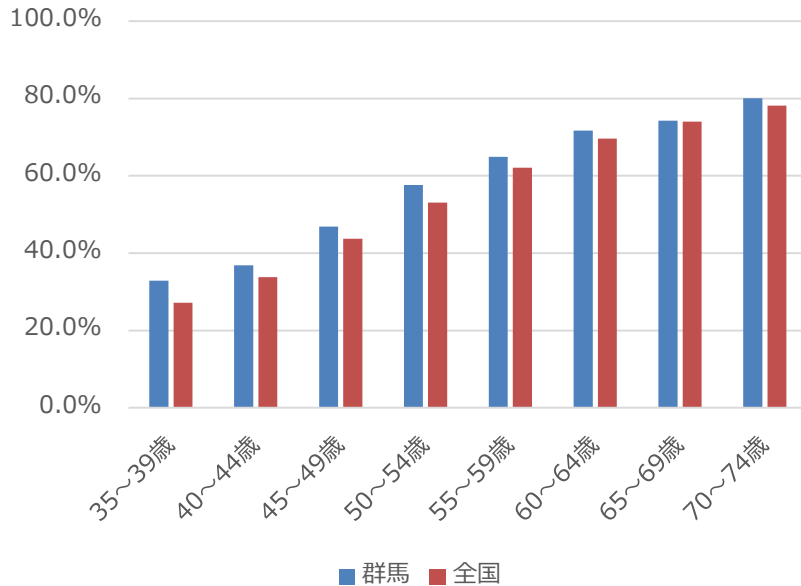
令和3年度性別・年齢階級別血圧リスク保有者割合では、すべての年代で、全国平均を上回る。

令和3年度生活習慣病予防健診受診者

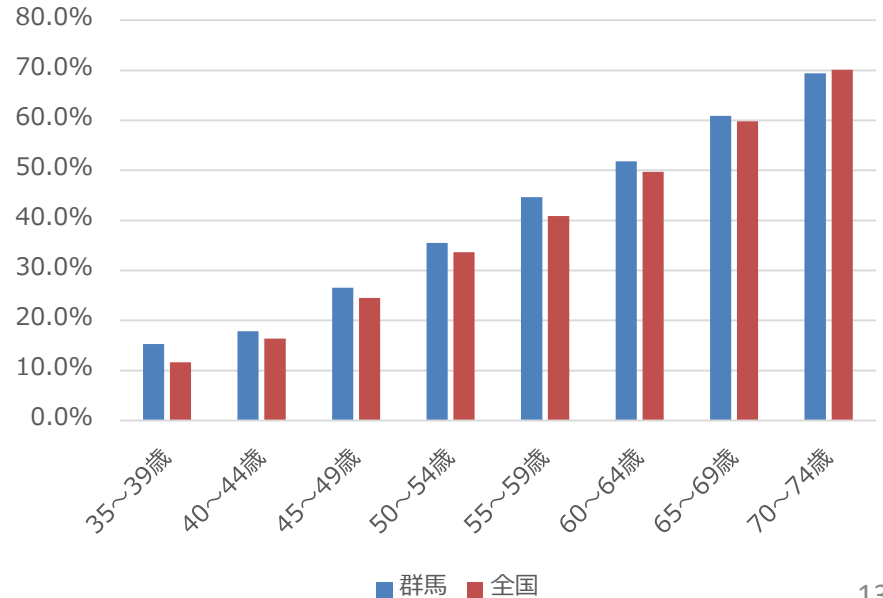
全体



男性

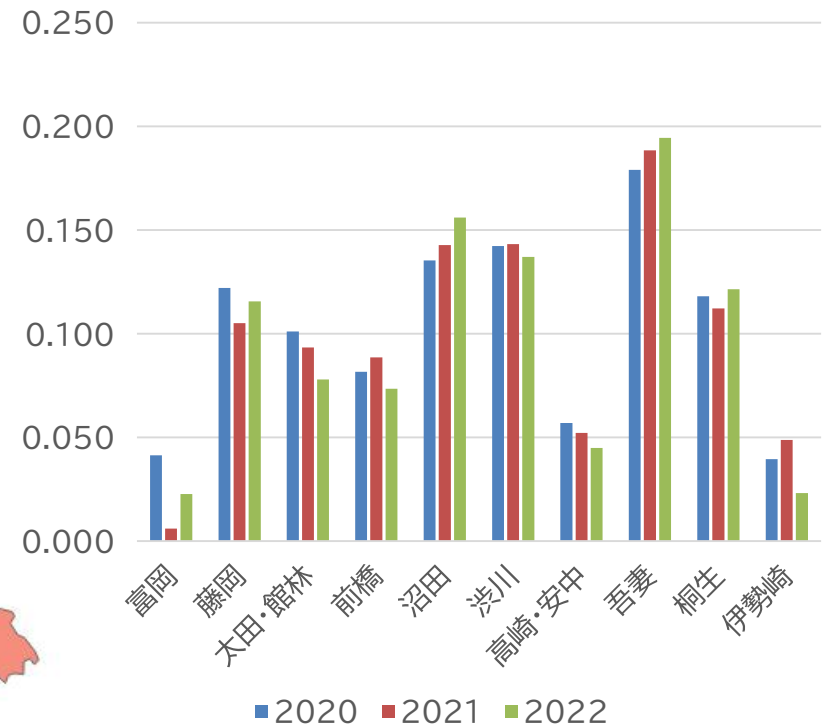
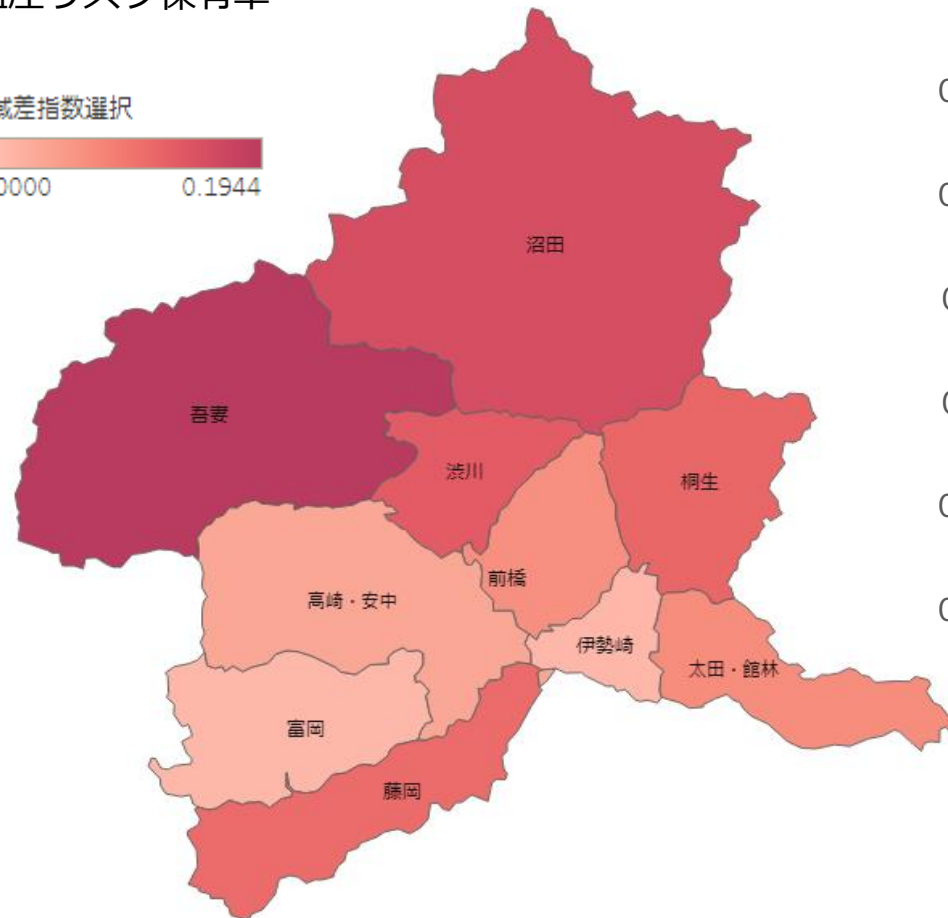


女性



二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 血圧リスク保有率

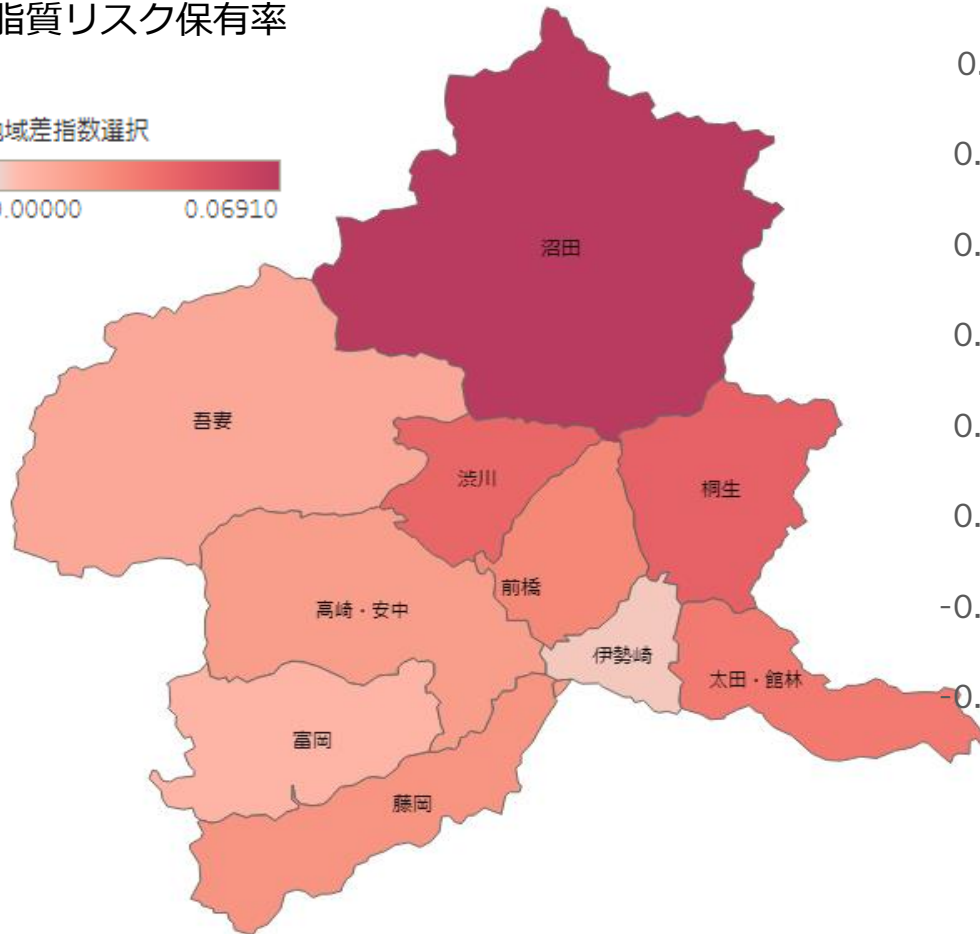
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	0.041	0.122	0.101	0.082	0.135	0.142	0.057	0.179	0.118	0.040
2021	0.006	0.105	0.093	0.089	0.143	0.143	0.052	0.188	0.112	0.049
2022	0.023	0.116	0.078	0.074	0.156	0.137	0.045	0.194	0.121	0.023

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 脂質リスク保有率

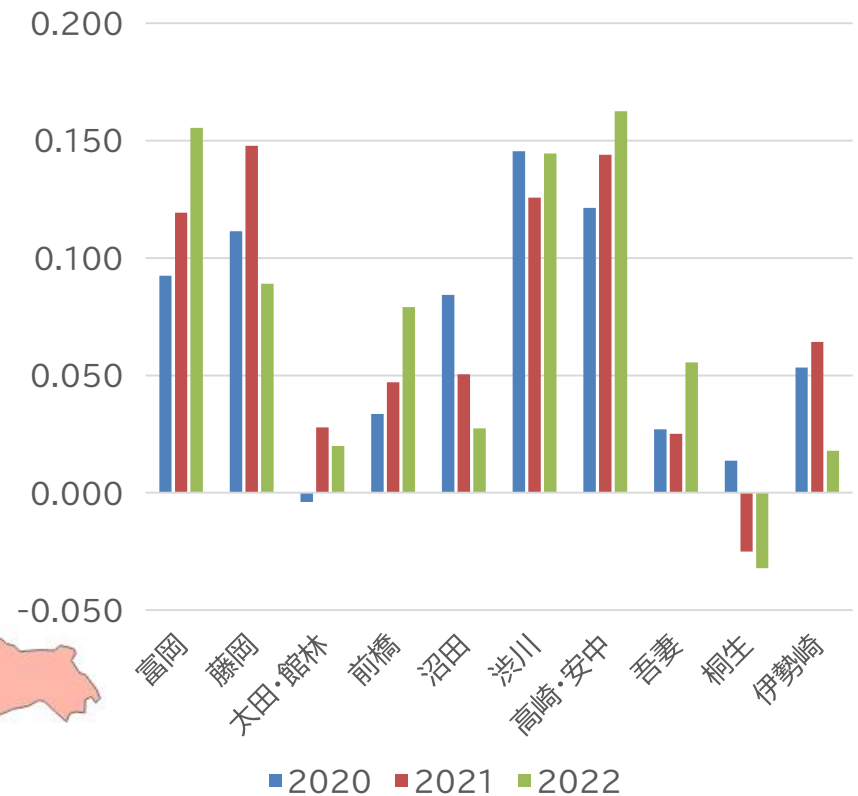
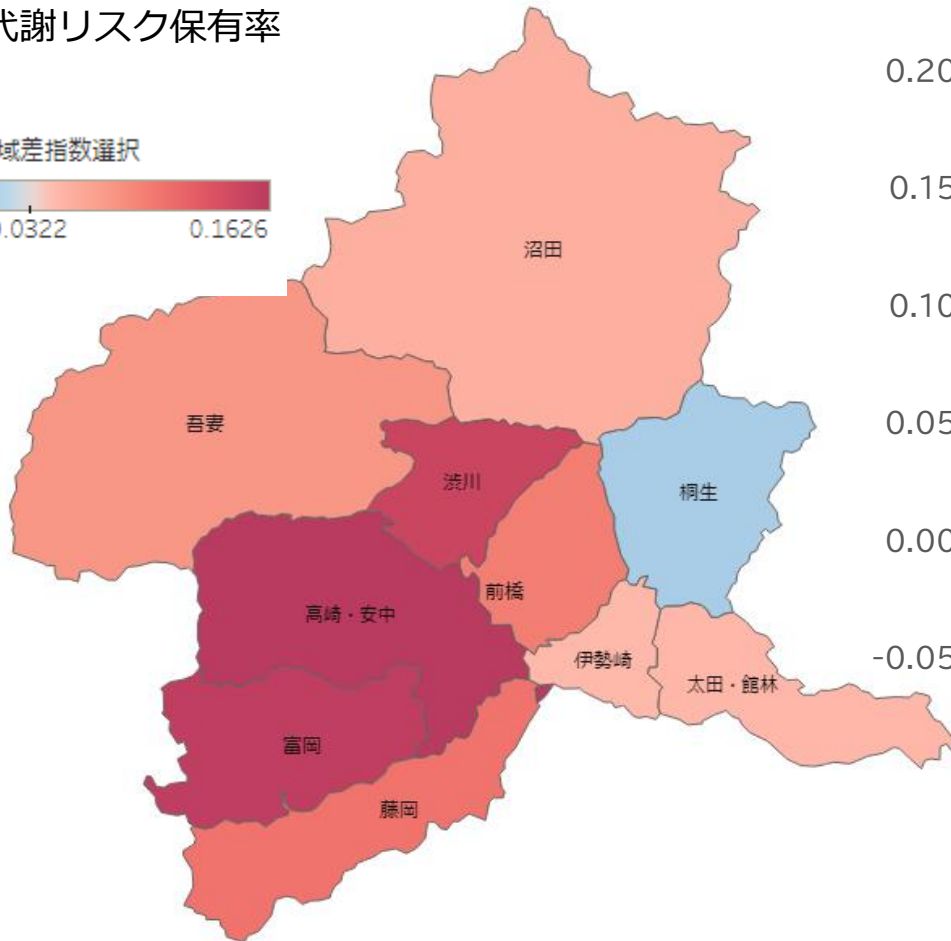
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.018	0.023	0.055	0.036	0.075	0.041	-0.005	0.053	0.044	0.041
2021	-0.020	0.019	0.051	0.024	0.081	0.068	0.026	0.048	0.058	0.013
2022	0.009	0.025	0.035	0.030	0.069	0.043	0.020	0.015	0.046	0.004

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 代謝リスク保有率

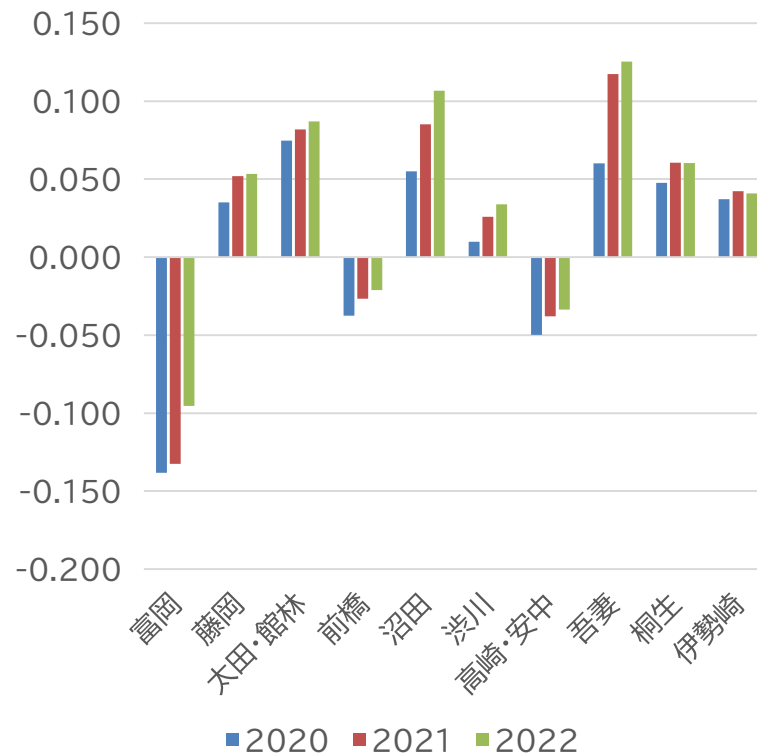
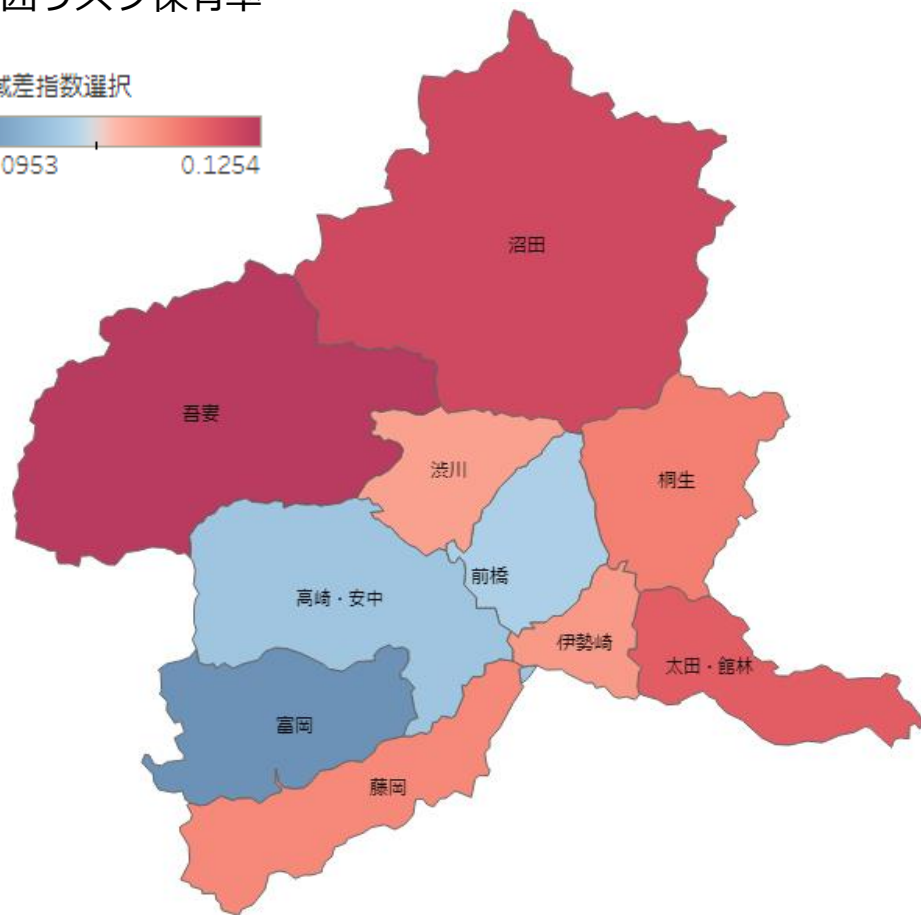
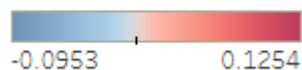
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	0.093	0.111	-0.004	0.034	0.084	0.146	0.121	0.027	0.014	0.053
2021	0.119	0.148	0.028	0.047	0.051	0.126	0.144	0.025	-0.025	0.064
2022	0.155	0.089	0.020	0.079	0.027	0.145	0.163	0.055	-0.032	0.018

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 腹囲リスク保有率

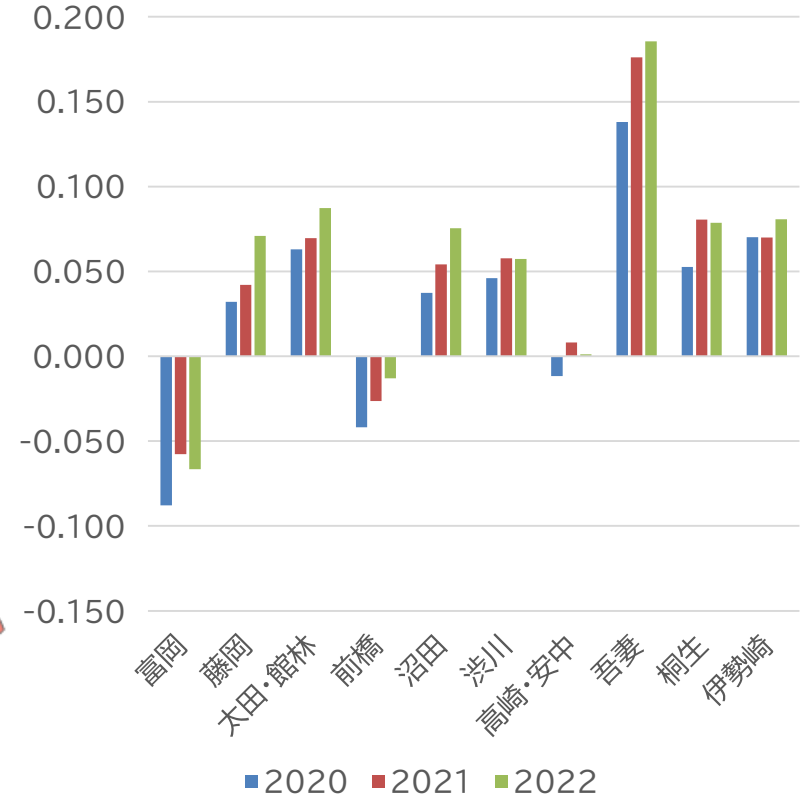
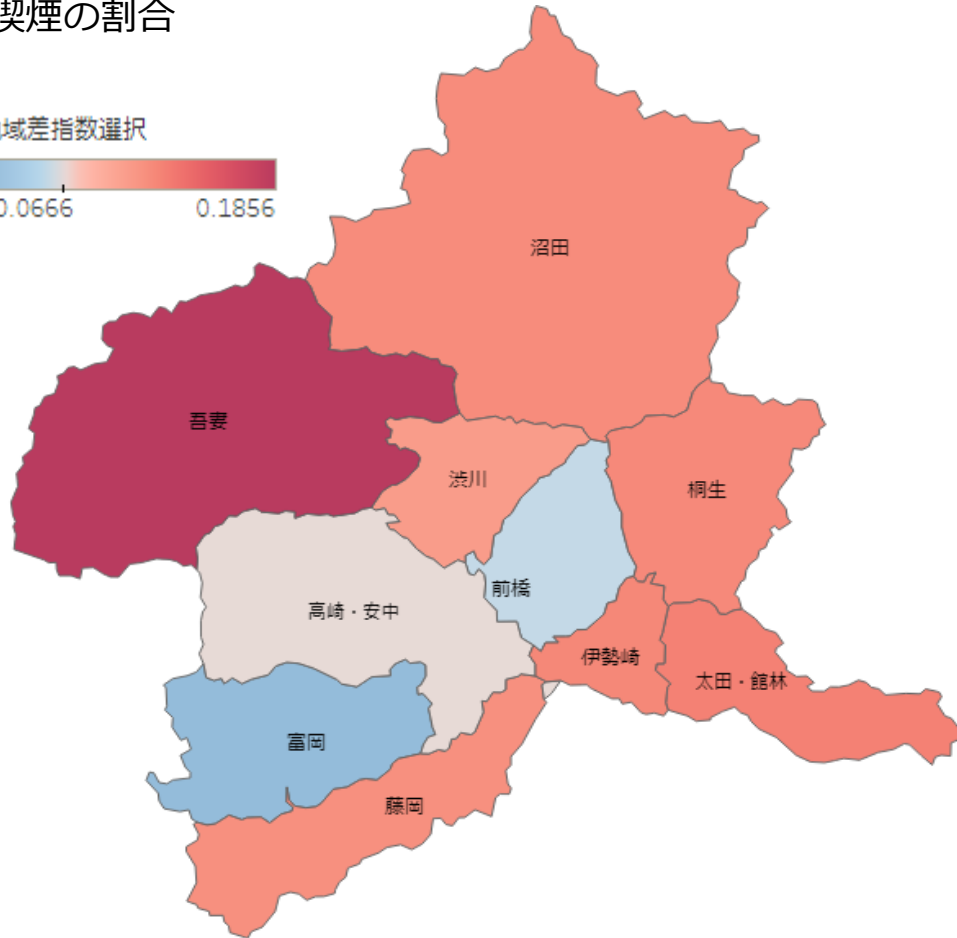
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.138	0.035	0.075	-0.037	0.055	0.010	-0.050	0.060	0.048	0.037
2021	-0.132	0.052	0.082	-0.027	0.085	0.026	-0.038	0.117	0.060	0.042
2022	-0.095	0.053	0.087	-0.021	0.107	0.034	-0.034	0.125	0.060	0.041

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 喫煙の割合

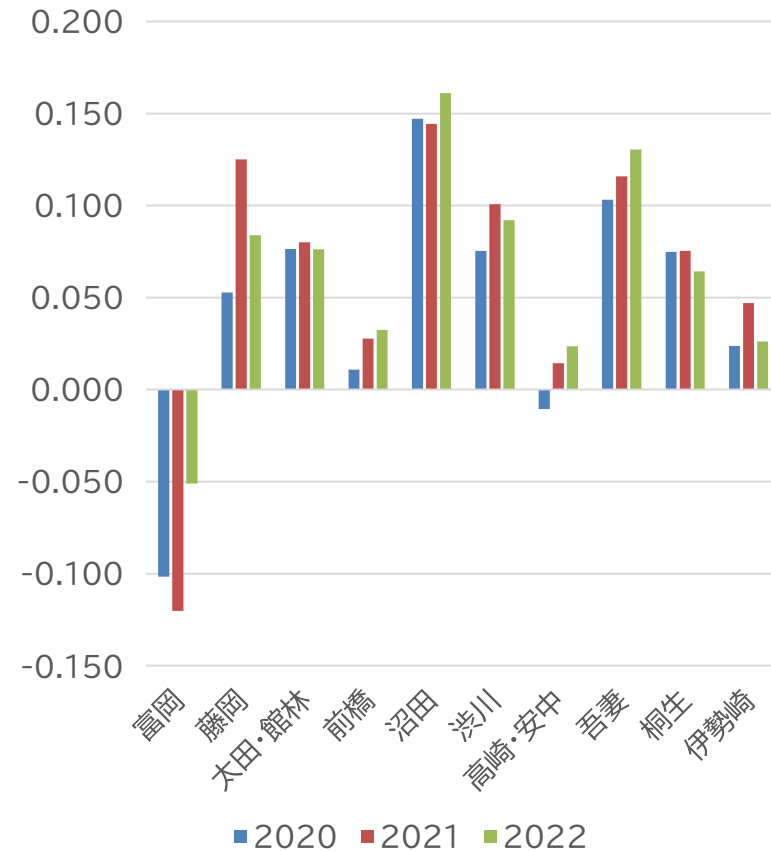
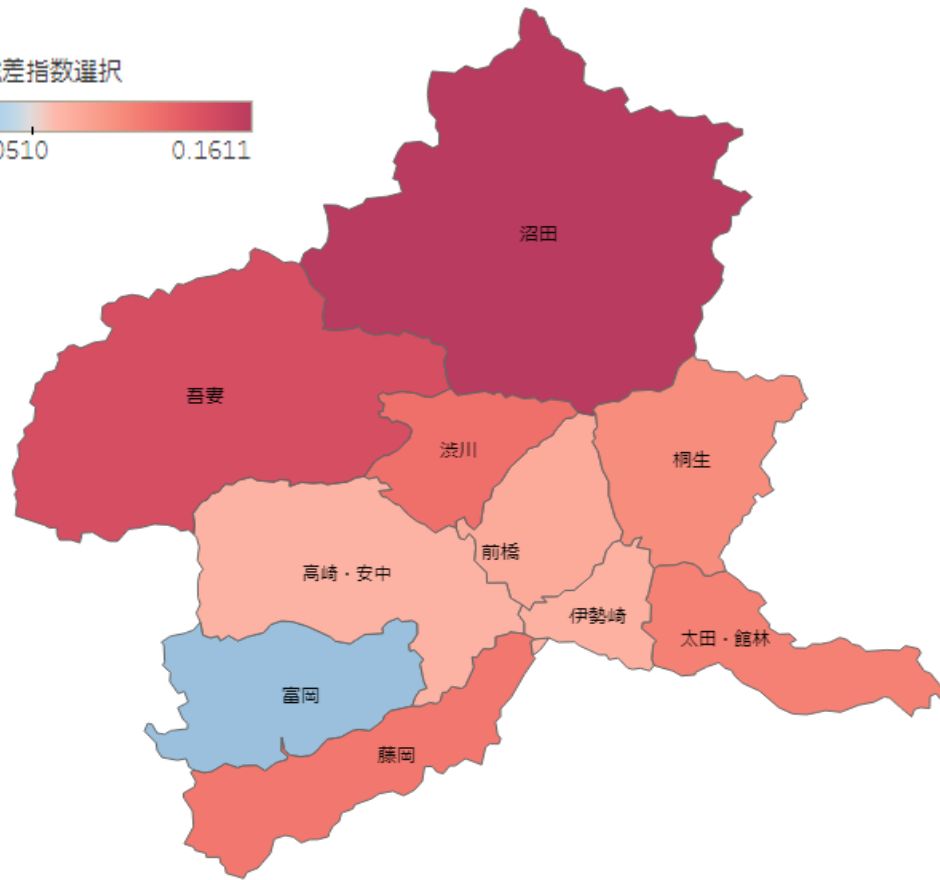
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.088	0.032	0.063	-0.042	0.037	0.046	-0.012	0.138	0.053	0.070
2021	-0.058	0.042	0.070	-0.026	0.054	0.058	0.008	0.176	0.081	0.070
2022	-0.067	0.071	0.087	-0.013	0.076	0.057	0.001	0.186	0.079	0.081

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） メタボリックシンドロームリスク保有率

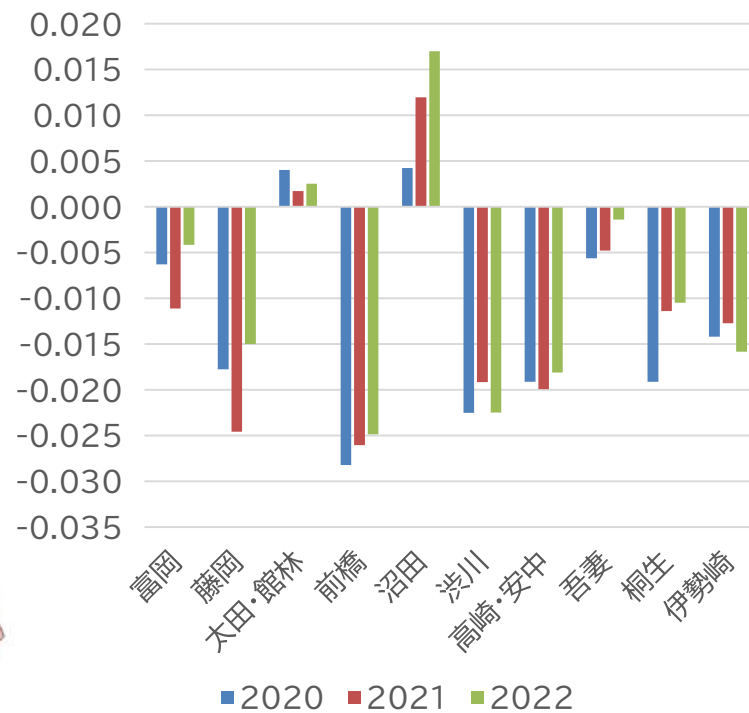
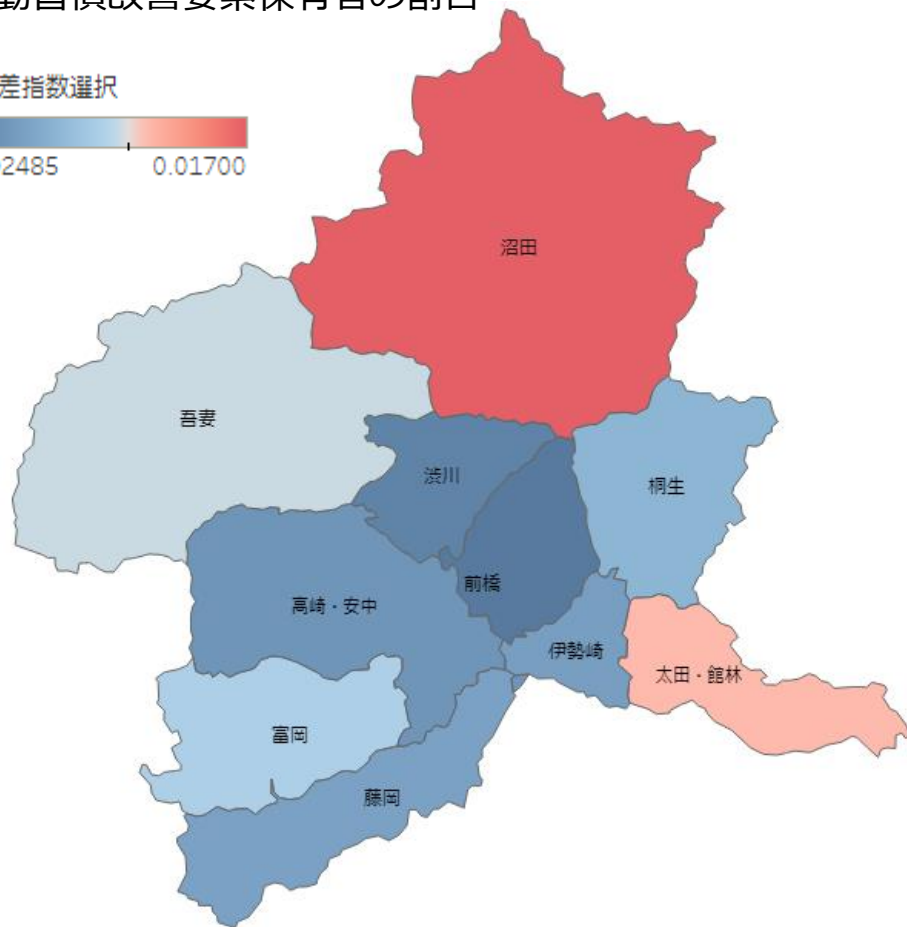
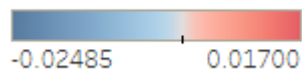
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.102	0.053	0.076	0.011	0.147	0.075	-0.010	0.103	0.075	0.024
2021	-0.120	0.125	0.080	0.028	0.144	0.101	0.014	0.116	0.075	0.047
2022	-0.051	0.084	0.076	0.032	0.161	0.092	0.023	0.131	0.064	0.026

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 運動習慣改善要素保有者の割合

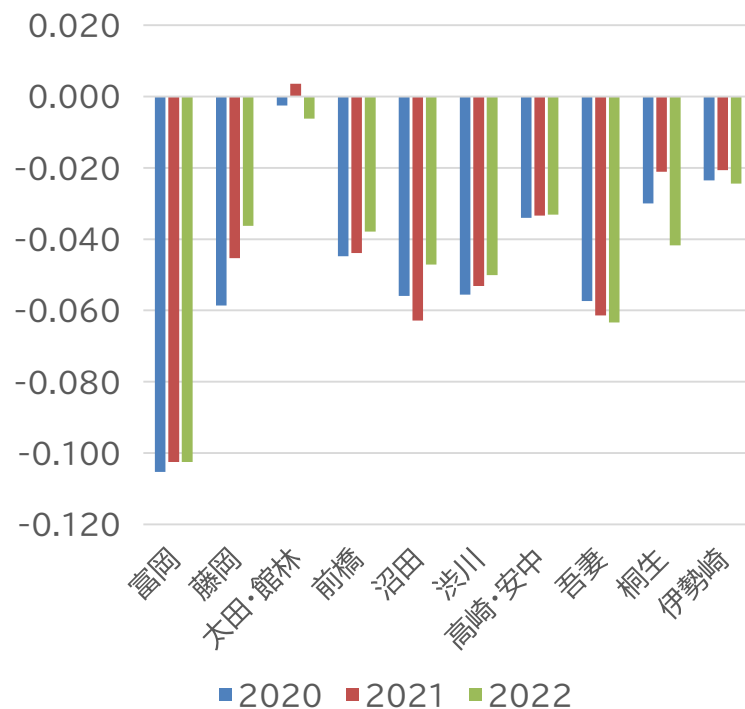
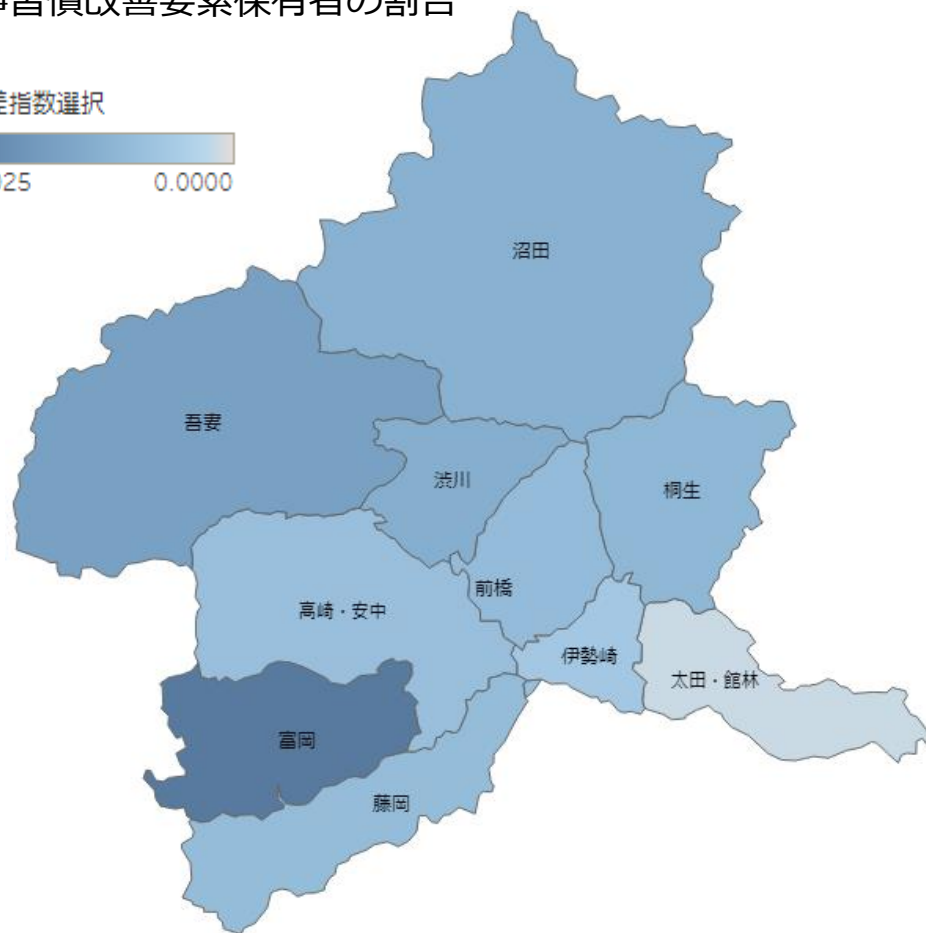
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.006	-0.018	0.004	-0.028	0.004	-0.023	-0.019	-0.006	-0.019	-0.014
2021	-0.011	-0.025	0.002	-0.026	0.012	-0.019	-0.020	-0.005	-0.011	-0.013
2022	-0.004	-0.015	0.003	-0.025	0.017	-0.022	-0.018	-0.001	-0.010	-0.016

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 食事習慣改善要素保有者の割合

地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.105	-0.059	-0.002	-0.045	-0.056	-0.056	-0.034	-0.057	-0.030	-0.023
2021	-0.103	-0.045	0.004	-0.044	-0.063	-0.053	-0.033	-0.061	-0.021	-0.021
2022	-0.102	-0.036	-0.006	-0.038	-0.047	-0.050	-0.033	-0.063	-0.042	-0.024

(参考) 健診結果および問診結果の基準

① 血圧リスク保有率	収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合	⑦ 運動習慣改善要素保有者の割合	以下の質問に、2問以上「いいえ」と回答した者の割合
② 脂質リスク保有率	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合		1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している
③ 代謝リスク保有率	空腹時血糖 110mg/dl 以上（ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0 以上）、または糖尿病に対する薬剤治療ありの者の割合		日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施
④ 腹囲リスク保有率	内臓脂肪面積が100 cm ² 以上の者（ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者）の割合	⑧ 食事習慣改善要素保有者の割合	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い
⑤ 喫煙の割合	問診票において、喫煙者であると回答した者の割合		以下の質問のうち、2項目以上に該当する者の割合
⑥ メタボリックシンドロームリスク保有率	④かつ①～③のうち2項目以上に該当する者の割合		人と比較して食べる速度が速いに「速い」と回答
			就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上あるに「はい」と回答
			朝食を抜くことが週に3回以上あるに「はい」と回答
			朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますかに「毎日」「時々」と回答

戦略的保険者機能強化に向けた群馬支部の現状

- 1.適用情報・医療費情報
- 2.健診情報
- 3.健康課題と取組

群馬支部の健康課題

血圧リスク保有割合が高いこと

- ・ 全国平均と比較して一人当たり医療費は低いが、生活習慣病リスク保有率は高い。（特に、血圧リスクについては、他リスクと比較して全国平均との差が大きい。）
- ・ 疾病別でみると、「循環器系の疾患」にかかる入院外の一人当たり医療費は全国平均を下回るが、入院の一人当たり医療費が全国平均を上回っている。
- ・ 傷病手当金の支給状況では、資格喪失者の件数割合が高い傷病をみると「循環器系の疾患」が、「精神及び行動の障害」に次いで高い。

高血圧は自覚症状がなく、ほとんど無症状で進行するため、気付いた時には、重症化していることが考えられる。

背景

- 男女とも脳血管疾患による死亡率が高い
- 幼少期からの肥満傾向が高い県民性がある
- 運動不足（自動車通勤率 全国第3位）、塩分摂取過多（調理弁当購入率 全国1位）、喫煙（習慣的喫煙男性 全国1位）などの生活習慣が重なり、高血圧症になるリスクが高い
- 健診を受けても受診行動につながらず重症化しやすい（未治療者割合〔※〕群馬支部：4.8% 全国：3.9%）

〔※〕生活習慣病予防健診受診者のうち、血圧・血糖についての未治療者の割合

令和4年度重要業績評価指標（KPI）一覧

評価はKPIの達成度合いを3段階で表示
 ◎：目標を上回る ○：目標達成（計画通り） ×：目標未達

具体的施策		KPI	群馬			
			令和3年度 （実績）	目標	結果	達成状況
基盤的 保険者機能	サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況を100%とする	100%	100%	100%	○
		現金給付等の申請に係る郵送化率を96.9%以上とする	96.9%	96.9%	96.9%	○
	効果的なレセプト点検の推進	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする	0.238%	前年度以上	0.191%	×
		協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額を対前年度以上とする	3,345円	前年度以上	3,151円	×
	柔道整復施術療養費等における文書照会業務の強化	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上での施術の申請の割合について対前年度以下とする	1.20%	前年度以下	0.95%	◎
	返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進	日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を対前年度以上とする	87.56%	前年度以上	89.32%	○
返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする		66.46%	前年度以上	68.55%	○	
被扶養者資格の再確認の徹底	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を93.4%以上とする	89.70%	93.4%	89.53%	×	
戦略的 保険者機能関係	特定健診実施率・事業者健診データ取得の向上	生活習慣病予防健診受診率を63.7%以上とする	58.3%	63.7%	61.3%	×
		事業者健診データ取得率を10.2%以上とする	8.8%	10.2%	7.7%	×
		被扶養者の特定健診受診率を30.7%以上とする	28.0%	30.7%	28.8%	×
	特定保健指導の実施率及び質の向上	被保険者の特定保健指導の実施率を29.4%以上とする	12.3%	29.4%	14.4%	×
		被扶養者の特定保健指導の実施率を8.0%以上とする	4.2%	8.0%	4.8%	×
	重症化予防対策の推進	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.4%以上とする	9.2%	12.4%	11.1%	×
	健康経営（コラポヘルス）の推進	健康宣言事業所数を1,400事業所以上とする	1,184	1,400	1,331	×
	ジェネリック医薬品の使用推進	ジェネリック医薬品使用割合（※）を年度末時点で対前年度以上とする。 ※医科、DPC、歯科、調剤	81.0%	前年度以上	82.4%	○
	外部への意見発信	効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を行う	実施	実施	実施	◎
	広報の推進	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を53.0%以上とする	46.2%	53.0%	53.25%	○
組織・運営・関係	費用対効果を踏まえたコスト削減	一般競争入札に占める一者応札案件の割合について20%以下とする	9.1%	20%	15.4%	○

第2期データヘルス計画の概要

データヘルス計画とは

医療保険の保険者が保有するレセプト・健診データなどを分析・活用し、加入者の皆様の健康状態の特性を踏まえた健康づくりや重症化予防などの保健事業を実施していくための事業計画です。

第2期データヘルス計画 ⇒ 平成30年度～令和5年（6年間）の取組み

上位目標

10年以上経過後に達成する目標

重症高血圧の割合（男性1.9%、女性0.7%）を10%低下させ、
男性1.71%、女性0.63%にする

- 重症高血圧とは…拡張期血圧が110/収縮期血圧が180mmHg以上の方

中位目標

6年経過後に達成する目標

H27年度とR3年度の血圧リスク保有者の割合を比較し43.7%→41.5%にする

- 血圧リスク保有者とは…拡張期血圧が85/収縮期血圧が130mmHg以上の方（服薬者も含む）

下位目標

受診勧奨、特定保健指導、重症化予防事業、健康経営（コラボヘルス）の推進

血圧リスク上昇抑制にかかる取組（令和5年度）

下位目標

受診勧奨、特定保健指導、重症化予防事業、健康経営（コラボヘルス）の推進

項目	目標	新規・継続等の区分	主な取り組み内容
受診勧奨	生活習慣病予防健診実施率を66.6%以上とする	継続	健診機関との連携強化
		継続	低受診率事業所（小規模事業所）に対する文書勧奨
		継続	低受診率事業所（中規模事業所）に対する民間事業者による電話勧奨
		新規	制度周知（自己負担額減額）を目的とした周知広報及び案内の実施
	事業者健診データ取得率を10.3%以上とする	継続	民間業者を活用した事業者健診データの提供勧奨の実施
		継続	データ作成契約機関増の取組の強化
		継続	同意書提出済事業所に対する受診先健診機関の再確認
	被扶養者の特定健診受診率を30.8%以上とする	継続	がん検診との同時受診に関する受診勧奨の実施（5月～7月）
		継続	健康宣言事業所の事業主名による受診勧奨の実施（9月）
		継続	県外在住者への受診勧奨の実施（11月予定）
継続		受診状況およびGISを活用した受診勧奨の実施（1月頃予定）	
継続		協会主催の集団健診の実施（1月～3月予定）	
特定保健指導	被保険者 特定保健指導（協会実施分） 実施率を19.8%とする	継続	訪問実績リストを活用した保健指導案内及び宣言事業所への優先的な案内
		新規	特定保健指導対象者への案内数の増加
		継続	健康宣言事業所を中心とした事業所訪問による特保利用勧奨
		継続	特定保健指導市販パンフを活用しての利用勧奨
		継続	ホームページ・健診機関等での映像広告放映（広報強化）
	被保険者 特定保健指導（委託分） 実施率を18.2%とする	継続	専門機関（訪問型、ICT型、継続支援型）への委託件数の拡大
		継続	特定保健指導実施健診機関の目標値に対する進捗管理
		継続	合同スキルアップ研修または実践者会議による関係機関との連携強化
		継続	保健指導推進経費を活用した保健指導契約健診機関での特定保健指導実施強化
	被扶養者 特定保健指導実施率を8.0%とする	継続	利用券未利用者への案内送付
		継続	特定保健指導が実施できない健診機関において、協会保健師による特定保健指導の利用案内
		継続	集団健診当日の保健指導実施の拡大
		継続	被保険者と合わせて特定保健指導の広報強化

血圧リスク上昇抑制にかかる取組（令和5年度）

下位目標

受診勧奨、特定保健指導、重症化予防事業、健康経営（コラボヘルス）の推進

項目	目標	新規・継続等の区分	主な取り組み内容
重症化予防事業	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする	継続	支部および外部委託による二次勧奨
		継続	回答書提出者（近日中受診予定・受診予定なし）、未回答者への支部内二次勧奨
		継続	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づいた受診勧奨の徹底
		継続	医療機関情報提供（専門医リストの配付）
	生活習慣病重症化予防策を実施する	継続	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの保健指導フローに則して、生活習慣病の重症化予防のための保健指導を実施する
		継続	県プログラムに基づいた受診勧奨で得られた連絡票を活用して主治医と連携する
健康経営（コラボヘルスの推進）	健康事業所宣言事業所を1,200社以上とする	継続	宣言済事業所について、事業所における健康づくりの取組の質を担保するためコンテンツ（健診受診率及び特定保健指導実施率の目標設定の必須化）の標準化に着手する。
	※標準化された健康宣言の事業所数及び今後標準化された健康宣言への更新が見込まれる事業所数	継続	健康経営促進を目的とした関係団体との連携を強化する。
		継続	外部委託業者を活用した勧奨を実施する。
	健康事業所宣言事業所に対するポピュレーションアプローチを行う	継続	アンケート及び事業所カルテを送付し、その結果に応じたフォローアップを行う。
		継続	取り組み事例集を作成し、健康経営の取り組みを促進する。
		継続	優秀な取り組みをしている事業所の表彰を行う。

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の振り返り

上位目標

10年以上経過後に達成する目標

重症高血圧の割合（男性1.9%、女性0.7%）を10%低下させ、
男性1.71%、女性0.63%にする

■ 重症高血圧とは…拡張期血圧が110/収縮期血圧が180mmHg以上の方

最終目標値	実績 (直近の実績)	R10年3月末時点の 目標達成見込み	R10年3月末時点の目標達成見込みの理由
男性：1.71% 女性：0.63%	令和3年度	目標をやや下回る	平成27年から令和3年までの7年間の平均が男性1.86%、女性が0.73%で、目標設定時よりも女性がやや増加している状況であるが、大幅な増減があまりないことから同様の状況が続くと思われるため。
	男性：1.9% 女性：0.8%		

中位目標

6年経過後に達成する目標

H27年度とR3年度の**血圧リスク保有者**の割合を比較し43.7%→41.5%にする

■ 血圧リスク保有者とは…拡張期血圧が85/収縮期血圧が130mmHg以上の方（服薬者も含む）

最終目標値	実績 (直近の実績)	R5年度末の 目標達成見込み	課題
41.5%	令和3年度	目標を下回る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導の実施率が低い。 ・ 血圧リスク対策として業態などの絞った取り組みが出来ていない。 ・ 関係団体等との連携した取り組みが少なく、健康宣言のコンテンツ標準化への取り組みが進んでいない。
	47.97%		

血圧リスク上昇抑制にかかる取組案（令和6年度）

項目	今後力を入れていく取組
受診勧奨	R4年度生活習慣病予防健診実績は対前年度比で2%増加している（事業者健診は1.1%減少、特定健診は0.8%増加）。健診実績の向上について一番効果的と考えるのは、今年度から群馬支部で複合的な広報を実施する中で、健診費用の自己負担額軽減について重点的な広報を行い受診者数の増加を図ること、また、健診機関と連携強化（健診実績上位5機関の進捗管理）により生活習慣病予防健診の実施率向上を重点的に行う。
特定保健指導	第一に協会けんぽ全体の共通目標でもある、特定保健指導対象者への案内数を増やすこととする。自支部の特定保健指導については、継続支援をできるだけ外部委託業者に委託することで初回面談数の増加を図る。また、群馬支部管理職および外勤保健師・管理栄養士による事業所訪問を行い、利用勧奨を行う。
重症化予防	引き続き支部で行う二次勧奨を毎月着実に実施する。健康経営フォローアップで事業所訪問時に血圧リスクの高い従業員分のリーフレットを持参し、注意喚起する。
コラボヘルス	生損保会社と連携した健康宣言事業所を増やすだけでなく、質を担保するためにコンテンツの標準化に移行する事業所を増やす。また、保健師等専門職によるフォローアップ訪問や健康セミナーの実施件数を増やすことにより質の向上を図る。
ポピュレーションアプローチ	群馬県は血圧リスク者が多いこと及び高血圧にならないための生活習慣について、各種広報媒体を連動させて効果的な広報を行う。
その他	高血圧につながる生活習慣について調査分析を行い、群馬支部の生活習慣の特徴や改善が必要な生活習慣を明らかにする。また、血圧リスク保有率が高い地域や業態を分析し、的を絞った対策を行うとともに、関係団体と連携して効果的な取り組みを行う。

評議員の皆様のご意見を踏まえた効果的な事業を展開したいことから、現在の継続している取組についてのご意見や支部の課題解決に繋がると考えられる取組などのアドバイスを伺い、費用対効果を踏まえながら、検討を進めたいと存じます。